

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70163
事業名	自転車の通行空間整備費					
評価担当課	所 属	建)総務部 道路管理課			電話番号	011-211-2456
施策名	交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	自転車利用者のルール・マナーの欠如や自動車ドライバーの配慮が十分でないことなどが要因で、歩道上を自転車が通行することにより、歩道における歩行者との接触や交差点における自動車との出会い頭事故の懸念があることから、自転車通行空間の整備(自転車通行位置の明確化等)を行いルールどおりの車道通行を促す必要がある。
	事業内容(何を実施し)	自転車の秩序ある通行を促すため、車道の左側に矢羽根型路面表示等を設置することで、自転車の正しい通行位置を「見える化」し、自転車利用者や自動車ドライバーのルールに対する認識の向上を促す。 他工事などの実施状況を確認しながら、都心部において、引き続き矢羽根型路面表示の新設・更新を行っていくとともに、都心部以外の自転車の乗入れ台数や事故件数の多い駅周辺などについても整備を進めていく。 (令和4年度までは、駐輪場整備関係と通行空間整備関係が同一小事業であったが、令和5年度の小事業再編により、通行空間整備関係は単独の小事業へ移行した。令和4年度決算額は通行空間整備関係の経費を抜き出した金額としている。)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	自転車通行空間整備路線において、自転車の車道通行率を向上させる。
	他都市の状況	全国的に自転車通行空間の整備が進められており、政令指定都市では、さいたま市117km、京都市75km、福岡市38kmの整備(札幌市14km)が行われている。 [整備延長は自転車道、自転車専用通行帯、車道混在(矢羽根型路面表示)の合計。いずれも令和2年度末]
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	74,980 千円	うち特定財源	67,862 千円	正規職員業務量	1.33 人工
令和5年度予算額	97,000 千円	うち特定財源	89,311 千円	正規職員業務量	1.33 人工
令和5年度決算額	42,451 千円	うち特定財源	19,000 千円	正規職員業務量	1.33 人工
令和6年度予算額	138,000 千円	うち特定財源	122,800 千円	正規職員業務量	1.33 人工

指標	アウトプット活動指標1	郊外駅周辺の矢羽根型路面表示の整備延長km				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0	3	0	4	12	21
	↓						
	アウトカム成果指標1	郊外駅周辺の整備路線における自転車の車道通行率%				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		10	10	10	17	24	32
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は国費の減により郊外駅周辺の整備を先送りとしたが、今後も計画的に国費要望及び整備を行っていくことで、目標値の達成を目指す。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	都心部の未整備路線の再評価を行い、計画路線の見直しを行うとともに、新たに郊外駅周辺の整備を行う。
来年度以降の方向性	都心部及び郊外駅周辺について、他事業との調整を行いながら自転車通行空間の整備を進めていく。